

# 令和 5 年度通常総会議案書

日時／ 令和 5 年 6 月 7 日（水） 15:00～17:00

場所／ 如水会館 オリオンルーム

一般社団法人全国 LVL 協会

# 一般社団法人全国 LVL 協会

## 議 事 次 第

### 1 開会

### 2 会長挨拶

### 3 来賓挨拶

### 4 議 事

第 1 号議案 令和 4 年度事業報告及び収支決算の承認について

第 2 号議案 令和 5 年度事業計画（案）及び収支予算（案）の承認について

第 3 号議案 役員の改選の承認について

### 5 報告事項

第 1 号 賛助会員加入の承認について

第 2 号 技術部会報告

第 3 号 LVL の生産統計

### 6 閉会

第1号議案)

## 令和4年度 事業報告

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

### 1 一般事項

#### (1) 会員数

年度別	H1.11	H2.3	H3.3	H4.3	H5.3	H6.3	H7.3	H8.3	H9.3	H10.3	H11.3
正会員	14	15	18	21	21	18	18	18	18	18	15
賛助会員	0	7	8	8	9	9	9	9	10	9	11
合計	14	22	26	29	30	27	27	27	28	27	26
年度別	H12.3	H13.3	H14.3	H15.3	H16.3	H17.3	H18.3	H19.3	H20.3	H21.3	H22.3
正会員	13	12	13	11	9	8	8	8	7	8	9
賛助会員	11	11	13	9	6	6	6	6	6	6	5
合計	24	23	26	20	15	14	14	14	13	14	14
年度別	H23.3	H24.3	H25.3	H26.3	H27.3	H28.3	H29.3	H30.3	R1.3	R2.3	R2.5
正会員	11	13	13	13	13	13	11	11	11	11	11
賛助会員	14	17	16	17	19	20	20	25	30	33	35
合計	25	30	29	30	32	33	31	36	41	44	46
年度別	R3.3	R4.3	R5.3								
正会員	11	11	11								
賛助会員	34	36	38								
合計	45	47	49								

#### (2) 会議

##### 1) 通常総会

日時：令和4年6月6日

場所：東京都江東区新木場 1-7-22 新木場タワー15階 A 会議室

以下の議案について審議された後、承認された。

第1号議案 令和3年度事業報告及び収支決算の承認について

第2号議案 令和4年度事業計画(案)及び収支予算(案)の承認について

第3号議案 令和4年度加入金及び会費の額(案)の承認について

第4号議案 役員の一部改選の承認について

以下の事項について事務局から報告があった。

第1号 賛助会員加入の承認について

第2号 技術部会報告

第3号 LVLの生産統計

## 2) 第1回理事会

令和4年7月25日第1回理事会を書面決議による方法で開催した。議案は、インバラム株式会社の賛助会員加入の件で、令和4年度からの賛助会員加入が承認された。

## 3) 第2回理事会

日時：令和4年12月19日

場所：東京都江東区新木場1-7-22新木場タワー15階A会議室（web併用）

以下の事項について事務局から報告された。

第1号 令和4年度協会事業の活動状況について

第2号 林野庁補助事業の進捗状況について

第3号 外国人技能実習制度への対応状況について

第4号 賛助会員加入の承認について（第1回書面理事会の報告）

## 4) 第3回理事会

日時：令和5年3月15日

場所：東京都江東区新木場1-7-22新木場タワー15階A会議室（web併用）

以下の事項について事務局から報告された。

第1号 令和4年度協会事業の活動状況について

第2号 林野庁令和4年度補正予算及び令和5年度当初予算における補助事業への対応状況について

第3号 協会事業令和4年度決算及び令和5年度予算の見通しについて

第4号 外国人技能実習制度への対応状況について

第5号 その他

中大規模木造建築ポータルサイト協議会参加について

みどりの感謝祭への協賛について

## 2 事業の概要

### (1) 調査研究事業

林野庁補助事業を実施して、建築等の分野に投入できる技術の開発に努めた。また、技術部会の委員会を中心に基礎データ収集等を進めた。

#### 1) JAS改正委員会

前々年度から検討していた、2次接着の定義と寸法誤差の緩和に関する改正案を提案し、提案通りJASに反映することができた。2022年5月にパブコメが発表され、2023年3月に施行された。

木構造振興事業に応募した国産スギ利用ハイブリッドLVL開発について、本委員会で計画検討、実施した。外層に高強度カラマツLVL、内層にスギLVLを配置

したハイブリッド LVL の製造と曲げ性能検証を行った。また国産広葉樹 LVL の試作を行い、高強度の性能を確認した。

委員長（以下、敬称略）：中島（宇都宮大）

委員：平松・宮本（森林総合研究所）、尾方・板垣・小関（合板検査会）

大橋・古田・戸田（北海道林産試験場）

委員会開催状況：

5月	（1回目 zoom）	国産材利用ハイブリッド LVL 開発	試験計画
7月	（2回目 zoom）	国産材利用ハイブリッド LVL 開発	試験計画
10月	（3回目 zoom）	国産材利用ハイブリッド LVL 開発	生産予定
1月	（4回目 zoom）	国産材利用ハイブリッド LVL 開発	製造・試験速報
3月	ウェブ成果発表（木構造振興 HP）		

## 2) 構造利用委員会

木構造振興事業に応募した国産スギ利用床版開発について、厚み 30mm から 50mm の直交層をいれた面材（B種）。薄く幅広で、かつ 4M 以上の長尺が可能な特徴を生かし、合板より長く、CLT より薄い LVL で、高剛性かつ施工性のよい水平構面を構成できると考え、水平構面剛性の検討を行った。厚板 LVL はカラマツ、スギ、ラジアータパインを使用し、留付けはビスと接着剤を使用した。詳細計算法で床倍率 10 倍から 12 倍相当の結果を得た。

委員長（以下、敬称略）：稲山（東大）

委員：河村（島根産業技術センター）、早崎（建材試験センター 西日本試験所）、  
会員各社

委員会開催状況：

5月	（1回目 zoom）	全体計画検討
6月	（2回目 zoom）	試験計画（ビス、接着剤等の試験）
8月	（3回目 zoom）	試験仕様検討及び中間報告
1月	委員会開催（4回目 zoom）	試験結果報告
3月	ウェブ成果発表（木構造振興 HP）	

## 3) 防耐火委員会

LVL 協会では、住木センター事業に応募した 1 時間耐火構造（柱・梁）寸法拡大（1200 角まで）の確認試験を実施し、合格した。2023 年 9 月以降に認定番号もらえる予定である。木構造振興事業に応募した 2 時間耐火柱の耐火性能に達しなかった。2 時間耐火性能に対して節による薬剤含浸量の不足が考えられる。また、難燃

薬剤を含浸した LVL の準不燃材料の認定取得、材料試験が進行中、国土交通省に提出する予定である。

委員長（以下、敬称略）：腰原（東京大学生産技術研究所）

委員：安井（桜設計集団）、山代（ビルディングランドスケープ）、藤田（藤田K林産技術士事務所）、成瀬・鈴木（建築研究所）、水上（国土技術政策総合研究所）、板垣（秋田県立大学）、橋本（日本ツーバイフォー建築協会）、高木（日本木造住宅産業協会）、小宮（日本建築総合試験所）、坂田（坂田涼太郎構造設計事務所）、鍋野（鍋野友哉アトリエ / TMYA）

委員会開催状況：

5月	委員会開催（1回目 zoom）	全体計画検討
8月	委員会開催（2回目 zoom）	試験仕様検討
11月	委員会開催（3回目 zoom）	中間報告
2月	委員会開催（4回目 zoom）	事業報告
3月	ウェブ成果発表（木構造振興 HP）	

#### 4) 材料保存委員会

防腐防蟻における LVL の K3 浸潤度基準を集成材並みの基準に緩和するための基礎データを取得するため、北林試を中心とした防腐防蟻データを前年度から継続して収集した。今後、LVL に取って重要な商品となる土台の生産合理性や低コスト化に繋がる研究開発を継続して行った。また、LVL の JAS における防腐防蟻の JAS の取得が進まない背景を各メーカーにヒアリングを行い、今後の JAS 改正を働きかけることを予定する。

委員会開催状況：

委員長（以下、敬称略）：宮内（北海道立総合研究機構 林産試験場）

委員：松永（森林総合研究所）、伊佐治（北海道立総合研究機構 林産試験場）

委員会開催状況：

5月	（1回目 zoom）	試験計画
10月	（2回目 zoom）	会員各社の JAS に対する意見とりまとめ
11月	防腐防蟻 LVL 試験体確認	（鹿児島県吹上浜）
3月	（3回目 zoom）	試験実施状況報告

#### (2) 需要拡大及び普及・啓発事業

① 日本各地と東京都の連携した木材製品展示会（モクコレ）に参加し、LVL 製品及び LVL 製品を使った物件等を展示した。

② 林野庁の補助を受けて開発した LVL 被覆 1 時間耐火構造（梁・柱）に関するパ

ンプレットを、LVL協会ホームページに掲載するとともに、都道府県及び市区町村の公共建築担当部局、農林担当部局及び関係団体等に配布し、LVL製品に対する理解の促進・需要開拓に努めた。

(3) 令和4年度LVLの年間取扱量の調査の実施

会員各社における原木・単板消費量、LVLの生産量・使用販売量の調査を実施し、会員との情報共有を図るとともに、通常総会において公表。

3 会員の加入及び退会の状況

(1) 正会員

加入、退会ともなかった。

(2) 賛助会員

令和4年度から3会員、令和5年度から1会員の加入が承認された。

藤寿産業株式会社 令和4年3月14日付け (令和4年度から)

株式会社篠原商店 令和4年3月14日付け (令和4年度から)

ティンバラム株式会社 令和4年7月14日付け (令和4年度から)

# 令和4年度収支決算

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(収入)

(単位:円)

科目	令和4年度予算	令和4年度決算額	増△減	備考
加入金 (正会員)	-			
加入金 (賛助会員)	200,000	300,000	100,000	篠原商店、藤寿産業、 ティンバラム
会費 (会員)	3,300,000	3,300,000	0	
会費 (賛助会員)	7,600,000	7,800,000	200,000	ティンバラム
雑収入	180,000	0	△ 180,000	
前受け収益	-	400,000	400,000	5年度会費
受取利息	94	95	1	
木構造振興補助事業 1	11,700,000	11,700,000	0	
木構造振興補助事業 2	23,000,000	23,000,000	0	
住木センター		14,097,000	14,097,000	
前年度繰越金	12,654,134	12,654,134	0	
収入合計	58,634,228	73,251,229	14,617,001	

(支出)

科目	令和4年度予算	令和4年度決算額	増△減	備考
一般管理費	3,722,000	3,451,638	△ 270,362	
事務費	2,094,400	1,980,160	△ 114,240	
事務所費	897,600	897,600	0	
通信費	450,000	306,835	△ 143,165	
消耗品費	90,000	68,625	△ 21,375	
印刷費	10,000	0	△ 10,000	
支払手数料	60,000	43,763	△ 16,237	
雑費	10,000	1,375	△ 8,625	
租税公課	110,000	153,280	43,280	
借入金返済				
事業費	7,320,000	9,017,061	1,697,061	
調査研究費	6,000,000	7,370,515	1,370,515	
広報費	500,000	1,453,151	953,151	
会議費	400,000	80,799	△ 319,201	
諸謝金	150,000	0	△ 150,000	
委員旅費	50,000	0	△ 50,000	
職員旅費	220,000	112,596	△ 107,404	
業務委託費	0	0	0	
交際費	50,000	0	△ 50,000	
諸会費	500,000	428,500	△ 71,500	
新団体拠出金	500,000	0	△ 500,000	
予備費	1,500,000	0	△ 1,500,000	
積立金		0	0	
寄付金	200,000	200,000	0	
木構造振興補助事業 1	11,700,000	11,700,000	0	
木構造振興補助事業 2	23,000,000	23,000,000	0	
住木センター		14,097,000	14,097,000	
前受け収益		400,000	400,000	
次期繰越金	10,142,228	10,957,030	814,802	
支出合計	58,634,228	73,251,229	14,617,001	



## 調査研究費 各委員会別予算対比

	予算	3月末決算額	予算残
JAS改正委員会	1,000,000	17,850	982,150
構造利用委員会	2,000,000	2,173,390	△ 173,390
材料保存委員会	1,000,000	1,069,641	△ 69,641
防耐火委員会	2,000,000	4,109,634	△ 2,109,634
合計	6,000,000	7,370,515	△ 1,370,515

貸借対照表

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
流動資産		流動負債	
現金	177,329		
普通預金(商工中金)	11,080,840	前受け収益	400,000
普通預金(ゆうちょ銀行)	96,584	未払金	9,723
前払い費用	12,000	(次期繰越収支金)	10,957,030
合計	11,366,753	合計	11,366,753


財産目録


科目	適用	金額
現金	現金(手元残高)	177,329
普通預金	商工中金 新木場支店	11,080,840
普通預金	ゆうちょ銀行	96,584
前払い費用	日本建築学会年会費	12,000
前受け収益	岩田機械産業 協会5年度 年会費	△ 200,000
前受け収益	スリムテックジャパン 協会5年度 年会費	△ 200,000
未払金	アスクール	△ 9,723
合計	正味財産	10,957,030

## 監 査 報 告

私たち監事は、一般社団法人全国LVL協会事務局会議室において、令和4年度の一般社団法人全国LVL協会の会計処理状況について監査したところ、帳票、証拠書類等が整理され、適正に処理が行われている事を確認致しましたので、ご報告致します。

令和5年4月27日

監事 島中正行 

監事 牧野克己 

## 令和 5 年度事業計画 (案)

(令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日)

### 1 組織の強化

令和 5 年 5 月、新型コロナウイルス感染症は、感染症 5 類に移行する等落ち着いてきているものの、ロシアによるウクライナ侵攻については事態の収束が見えず、世界経済等も未だ先行き不透明な情勢にある。

木材の需給については、新型コロナウイルス感染症拡大に端を発した木材不足・価格高騰、いわゆるウッドショックに加え、ロシアによる木材製品の輸出禁止等が加わり、原材料の入手困難等依然として木材業界にとって厳しい状況が続いている。

このような中、令和 3 年、「脱炭素社会の実現に資するための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」(公共建築物等木材利用促進法改正) が施行され、広く一般建築物への木材利用を促進する制度・枠組が構築、林野庁においては、都市等における木材利用の促進やこれまで輸入に頼っていた建築用木材部材等の国産材への転換を支援する等各種施策のための予算が確保されている。

当協会としては、これら世界情勢、行政の方向に適切に対応した技術開発等に努めるとともに、今年度も組織の一層の強化と財源確保に向け、行政機関及び関係団体との連絡・協調をより緊密化させ、LVL の生産・流通・設計施工に関わっている企業・団体・個人に、当協会の活動の普及及び加入を積極的に働きかけていくこととしたい。

### 2 調査研究事業

#### 1) JAS 改正委員会

効率的で競争力のある LVL の生産を目的として会員各社の要望を取りまとめ、次回改正 JAS に盛り込むための準備委員会を開催する。今年度の木構造振興事業において採択された、異なる樹種の LVL を組み合わせた国産材ハイブリッド LVL の開発を昨年度に引き続き行う。異樹種同士の性能を検討するとともに、国産広葉樹の工場ラインでの LVL 生産を実施し、LVL の新たな可能性にチャレンジする。

外部委員 (予定) : 中島 (宇都宮大学)、宮本・平松 (森林総合研究所)、尾方・小関・板垣 (日本合板検査会)、大橋・古田・戸田 (北海道林産試験場)

## 2)構造利用委員会

昨年度に引き続き LVL 厚板を高耐力面材として提案、住宅から中大規模木造建築の需要に対応していく。今年度の木構造振興事業において採択された LVL 厚板の水平構面の開発を行う。基準強度が与えられている LVL は、合板等に比べ構造設計が容易であると共に、大きな板として利用がしやすい。ネダノンの様な、LVL 協会共通のブランド化や流通ができることを目標としている。

外部委員（予定）：稲山（東京大学）、河村（島根産技）、早崎（建セ）

## 3)防耐火委員会

今年度の木構造振興事業として採択された、難燃薬剤処理 LVL 被覆の 90 分または 120 分耐火構造（柱）の開発を行う。90 分耐火構造は今年 4 月に 9 階建てまでの建築物に必要な耐火構造として新たに新設され、高層木造の新たなマーケットとして注目されている。また構造部材の寸法拡大を実現した 1 時間耐火構造のパフレットを使用して設計者・官庁営繕向けへの同工法のアピールを継続していく。

外部委員（予定）：腰原（東京大学）、安井（桜設計集団一級建築士事務所）、藤田（藤田 K 林産技士事務所）、山代（ビルディングランドスケープ、建築家）、成瀬・鈴木（建築研究所）、水上（国土交通総合研究所）、高木（木住協）、小宮（日本建築総合試験所）、橋本（日本ツーバイフォー建築協会）板垣（秋田県立大学）、坂田（坂田構造設計事務所）、鍋野（鍋野友哉アトリエ/TMYA）

## 4)材料保存委員会

防腐防蟻における LVL の K3 浸潤度基準を集成材並みの基準に緩和するための取組を昨年度に引き続き行っていく。北林試を中心として防腐防蟻の試験を行い、鹿児島県の協会会員会社の白アリ試験地に設置した防蟻試験のデータ取りを継続していく。LVL に取って重要な商品となる土台の生産合理性や低コスト化に繋がる研究開発を継続して行う。特に、JAS の防腐防蟻処理製品の生産流通について障害になっていることなどを取り除くことで、集成材や合板等との比較においてプライオリティを獲得していく。

外部委員（予定）：宮内（北海道林産試験場）、伊佐治（北海道林産試験場）、松永（森林総研）、尾方・小関・板垣（日本合板検査会）

## 3 普及・啓発事業

普及・啓発のため次の取組を行っていく。

- ① 林野庁の補助を受けて開発した LVL 被覆 1 時間耐火構造（梁・柱）に関するパ

ンフレットを公共建築物等設計の予定ある公共機関等に配布し、LVL 製品に対する理解の促進及び需要の開拓。

- ② 協会ホームページ等を活用し、LVL を含むエンジニアードウッドと副資材等の認識を得ていくため、普及啓蒙、宣伝に努め需要の拡大
- ③ LVL を含むエンジニアードウッドと副資材等に関する研修会等を開催し、会員企業における技術の向上
- ④ 一般社団法人日本木材輸出振興協会と協力し、海外への木材製品のニーズと用途開発

#### 4 広報事業

広報事業として次の取組を行っていく。

- ① 協会ホームページの充実・強化
- ② 会員企業のさらなる発展に資するため、技術資料等の充実
- ③ 建築資材としての LVL に対する理解を深めるため、成果発表会等の活性化

#### 5 外国人技能実習制度への対応

国際貢献を目的として構築された「外国人技能実習制度」については、人手不足への対応を目的として構築された「特定技能制度」とともに、その在り方について検討するため、令和 4 年 11 月、政府において「技能実習制度及び特定技能制度の在り方に関する有識者会議」が設置された。(本年秋頃、関係閣僚会議に最終報告書を提出する見込。) また、林野庁においては、木材産業関係職種の特設技能制度への追加を検討するため委託事業を実施(全国木材組合連合会受託)。当協会としては、日本合板工業組合連合会とともに、合板・LVL が特定技能制度に追加されるよう対応していく。

#### 6 その他

国及び地方公共団体の行う LVL を含むエンジニアードウッドと副資材等に関する事業等に積極的に協力していく。

## 令和5年度収支予算案

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(収入)

(単位:円)

科目	令和4年度決算	令和5年度予算	増△減	備考
加入金 (正会員)				
加入金 (賛助会員)	300,000	100,000	△ 200,000	江間忠
会費 (会員)	3,300,000	3,300,000	0	
会費 (賛助会員)	7,800,000	7,800,000	0	江間忠木材加入、マ グ・インパール退会
臨時会費	-	900,000	900,000	意見交換会2回
前受け収益	400,000		△ 400,000	
受取利息	95	95	0	銀行利息
木構造振興補助事業 1	11,700,000	11,700,000	0	
木構造振興補助事業 2	23,000,000	23,000,000	0	
住木センター	14,097,000	0	△ 14,097,000	
前年度繰越金	12,654,134	10,957,030	△ 1,697,104	
収入合計	73,251,229	57,757,125	△ 15,494,104	

(支出)

科目	令和4年度決算	令和5年度予算	増△減	備考
一般管理費	3,451,638	3,478,975	27,337	
事務費	1,980,160	2,000,000	19,840	職員給与
事務所費	897,600	897,600	0	事務所賃貸料
通信費	306,835	310,000	3,165	郵送費、電話、FAX
消耗品費	68,625	60,000	△ 8,625	文具等
印刷費	0	0	0	
支払手数料	43,763	50,000	6,237	振込手数料等
雑費	1,375	1,375	0	カード年会費
租税公課	153,280	160,000	6,720	都税、収入印紙
借入金返済				
事業費	9,017,061	9,410,000	392,939	
調査研究費	7,370,515	6,000,000	△ 1,370,515	
広報費	1,453,151	1,500,000	46,849	パンフ配布、モクコ レ、HP更新
会議費	80,799	1,700,000	1,619,201	意見交換会2回
諸謝金	0	60,000	60,000	講演料
委員旅費	0	0	0	
職員旅費	112,596	150,000	37,404	
業務委託費			0	
交際費	0	0	0	
諸会費	428,500	487,500	59,000	会費改訂2社
新団体拠出金	0	500,000	500,000	
予備費	0	1,500,000	1,500,000	
積立金	0	0	0	
協賛金	200,000	230,000	30,000	チームテインバライズ、 みどりの感謝祭
木構造振興補助事業 1	11,700,000	11,700,000	0	
木構造振興補助事業 2	23,000,000	23,000,000	0	
住木センター	14,097,000		△ 14,097,000	
前受け収益	400,000		△ 400,000	
次期繰越金	10,957,030	7,450,650	△ 3,506,380	
支出合計	73,251,229	57,757,125	△ 15,494,104	

(案) 令和5年度全国LVL協会 調査研究費予算 内訳

NO.	委員会	費用	項目	備考
1	J A S 改正	2,000,000	国産ハイブリッドLVL開発 国産広葉樹の利用拡大 次回JAS改正のためのデータ収集	木構造振興事業
2	構造利用	1,000,000	L V L 厚板水平構面の開発	木構造振興事業
3	材料保存	1,000,000	L V L の耐久性検証・耐候透明塗料検証・防腐防蟻性能検証	
4	防耐火	2,000,000	耐火構造の検討 90分、120分耐火柱	木構造振興事業
合計		6,000,000		



第3号議案)

役員改選 (案)

(令和5年6月7日～令和8年総会時まで)

協会役職	氏名	企業名	企業役職
会長	中西 宏一	株式会社 キーテック	代表取締役社長
副会長	森 英樹	株式会社 オロチ	代表取締役会長
専務理事	堀口 和秀	株式会社 オーシカ	代表取締役社長
理事	久保 好永	株式会社 ウッドワン	取締役構造システム営業部長
理事	石田 聖	湖北ベニヤ 株式会社	取締役専務
理事	中嶋 英二	株式会社 大三商行 サンテック事業部	取締役専務執行役員
理事	野田 四郎	石巻合板工業 株式会社	代表取締役社長
理事	又賀 航一	株式会社 日新	代表取締役社長
理事	大河 龍也	ファーストプライウッド 株式会社	代表取締役社長
理事	井上 篤博	西北プライウッド株式会社	代表取締役社長

監事	畠中 正行	株式会社 オーシカ	執行役員建材事業部長
監事	牧野 克己	株式会社 ウッドワン	シニアマネージャー

第1号

賛助会員加入の承認について

次の社の賛助会員加入が承認された。

○ 江間忠木材株式会社

令和5年4月17日に開催された令和5年度第1回理事会で、同社は令和5年度から賛助会員となることが承認された。

第2号

## 技術部会報告

別紙のとおり。

第3号

## LVLの生産統計

別紙のとおり。